

電子版「サイエンス」で最新
情報をご覧になれます

「個人の治療優先するAIを」

感染症治療の診断用人工知能（AI）の開発に関して、世界規模の薬剤耐性菌問題を考慮するAIより、個人優先の治療をするAIの普及を望む傾向が示された。長崎大学の研究チームが行った約4万人に対する調査で明らかになった。抗菌薬の使い方、仮に人類全体にとって有益なAIが開発されても普及が難しい可能性があるという。社会全体で抗菌薬を使い続けられれば、薬剤耐性菌が生み出され新たな感染症につながる。成果は英科学誌「サイエンティフィック・リポート」に掲載された。

